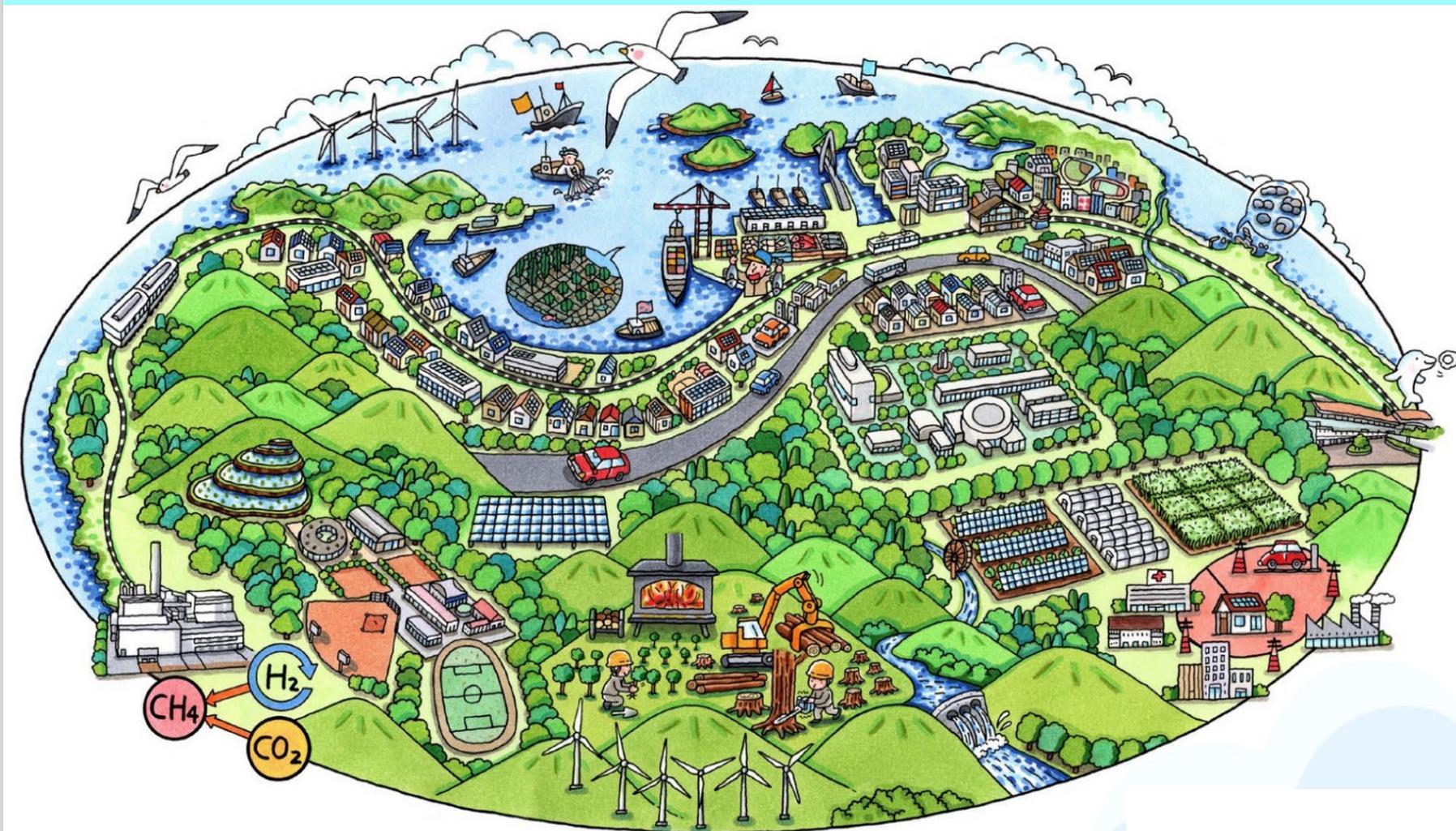


# 地域脱炭素①

ゆーとぴあのわ  
理想郷の輪



# 環境省へ提言！



脱炭素先行地域プラットフォームの改革を！

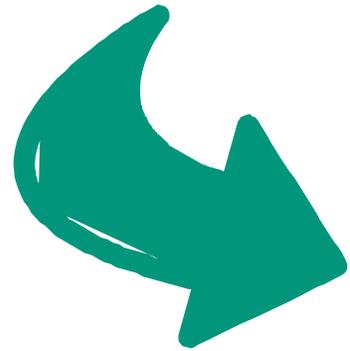


# 理想状態

- 脱炭素取り組み地域の増加
- 2050年カーボンニュートラルに向けた新たなソリューションの増加



# なぜ「後行地域」になってしまったのか



## 客観的な要因

- 過疎自治体で人出不足
- 予算がない

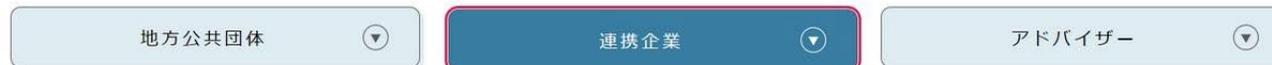


# 現状 今のプラットフォームだと...

1. アナログなマッチングは負担多い
2. 大企業だけでは限界がある
3. 先行地域からの横展開が遅れている



# 現状はデータベースに近い

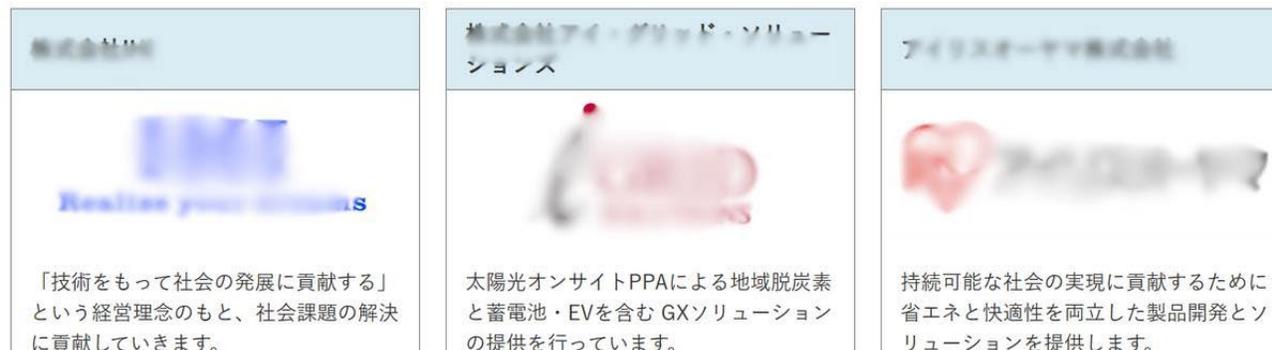


関連事業や事業活動エリアのタグを選択することで、企業を絞り込むことができます

関連事業： 再エネ全般 太陽光 バイオマス 小水力 風力 地熱 マイクログリッド ZEB,ZEH 電動車 水素

計画策定支援 FS調査 資源循環 デジタル 人材育成

事業活動エリア： 全国 北海道 東北 関東 中部 近畿 中国 四国 九州 沖縄



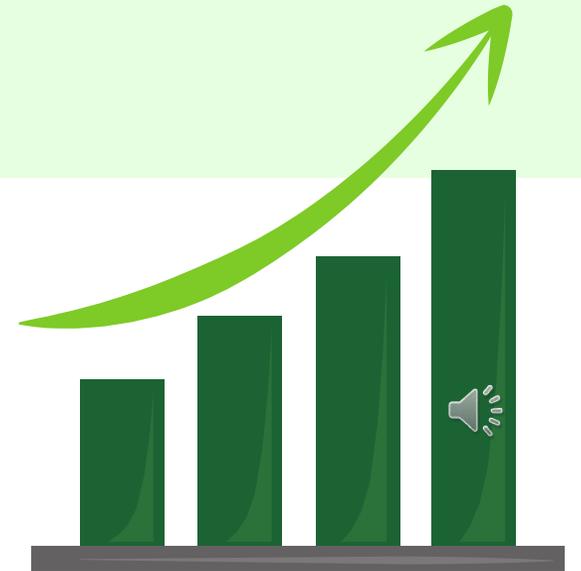
<https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/platform/>

# マッチングシステムは無い

大企業ばかり

# 必要なこと

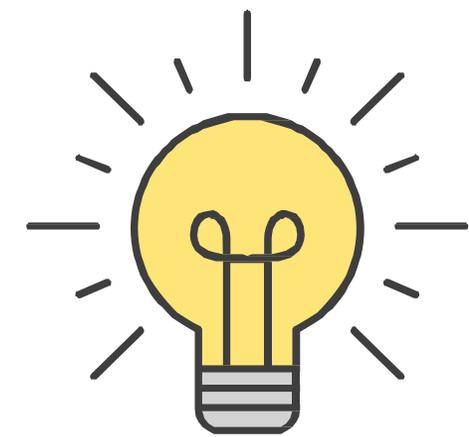
- マッチング(企業探し $\Leftrightarrow$ 自治体探し)の効率化
- 再エネ事業の主体を増やす



# 環境省に提言！

- ① AI活用によるシステム効率化
- ②ベンチャー参入により主体増やす





# ベンチャー参入を促進するためには？ 千葉エコ・エネルギー株式会社を取材！

---



- 現状どのような課題があるのか？
- 再エネ系ベンチャーの実態とは？
- ベンチャーそのものの課題か？
- 外部の課題なのか？？



# 取材を通して分かったこと

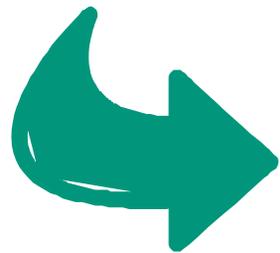
## 社会的課題

- 再エネと教育機関とのつながりが少ない
- 再エネによる「利益」だけでなく「理念」の再認識の必要性

## ベンチャー抱える課題

- パイプ構築の難しさ
- 再エネを促進するも支援量が少ない現状
- 再エネに精通した窓口が少ない
- 人材不足(→エネルギー事業を学ぶ大学・学部が少ない背景)

つまり...



このままではベンチャー参入が難しい  
再エネ事業の持続可能性問題生じる

そこで、更なる提案

再エネベンチャー企業の支援を推進



# プロセス

自治体視点

AIによる地域課題に該当する  
ソリューションとマッチング



情報入力

協力地場産業の情報も掲載



or



ソリューションを探す



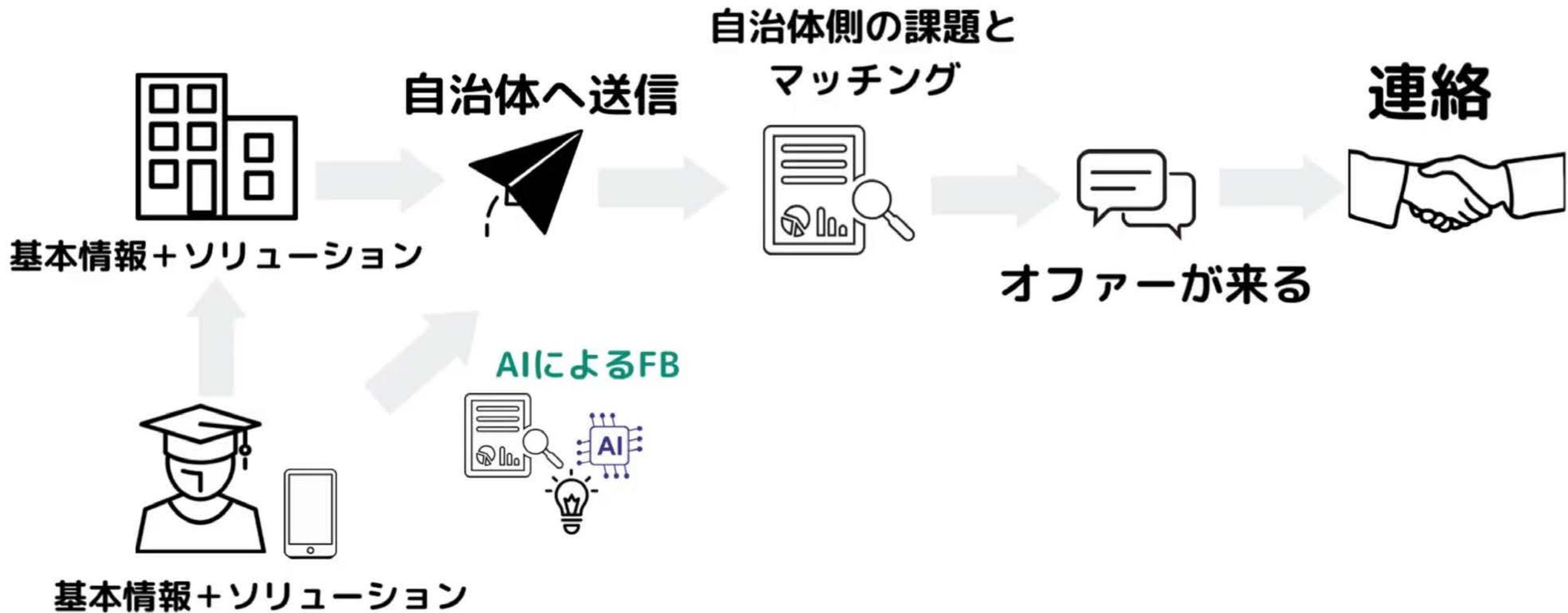
連絡



リトライ

# プロセス

企業・学生視点



# メリット

AIがおすすめを提案  
してくれるんだね

- ①アルゴリズム機能により企業・自治体  
探しの手間を省く
- ②自治体側から企業にオファーが出せる
- ③再エネ市場拡大・地域事業化の促進



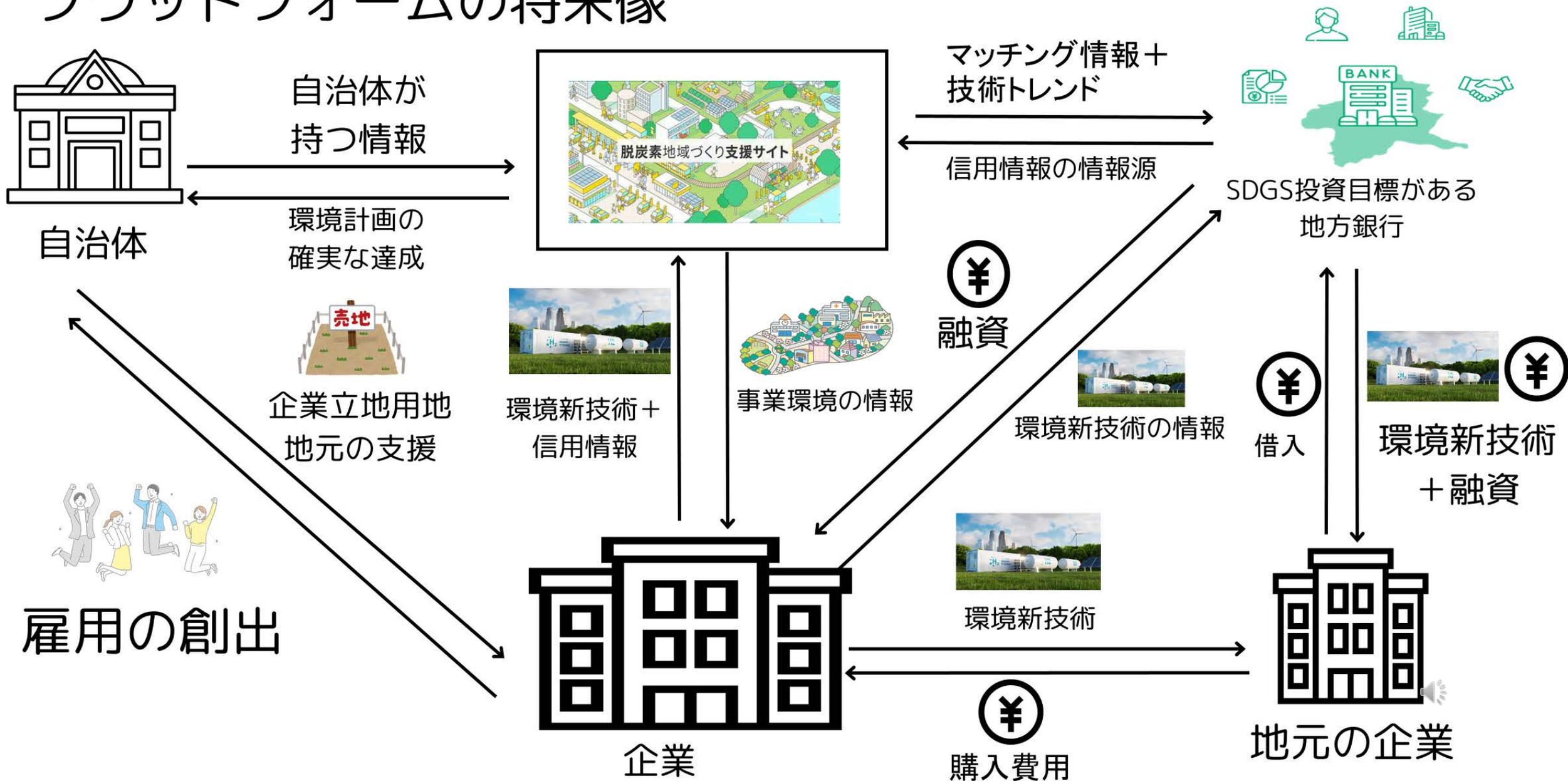
# 費用

システム開発費：1300万

ランニングコスト：30万

自治体情報をデータ化する費用:10万

# プラットフォームの将来像



企業の動き(例)

# 自治体マッチング

No

金融機関への情報提供に  
同意するか

Yes

自力資金調達  
(付き合いのある金融機関)

会社の信用情報は  
マッチング先金融機関へ

No

地元金融機関の  
連携に同意するか



Yes

No

融資を希望するか



Yes

企業が独自で市場開拓

融資手続き

Yes

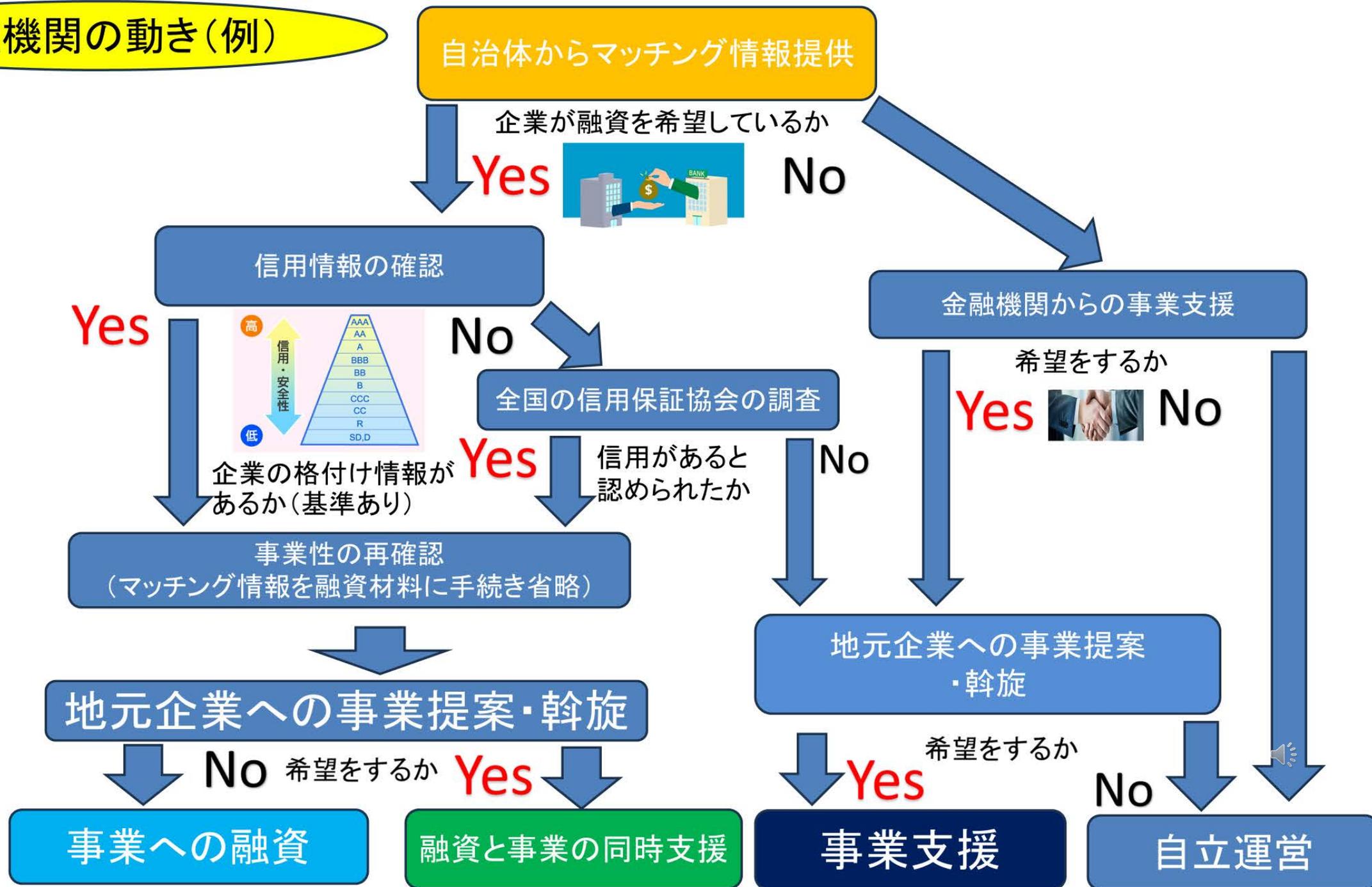
販売での  
連携希望するか

No

地元金融機関のネットワークを  
活用した市場開拓

企業が独自で  
市場開拓

# 金融機関の動き(例)



自治体の動き(例)

いつでもすぐに  
その場で条件に  
合った企業が  
見つかる!

マッチング

マッチング先に入札情報の案内

入札審査

落札

金融機関への情報提供の有無

No

Yes

自治体の事業遂行監査・斡旋

金融機関からの事業支援



# 2050年カーボンニュートラルに向けた新たな解決策を多く生み出すには？

企業

大学

ベンチャー

地域脱炭素に貢献したい個人

気軽に自分のアイデアが実現可能かどうか見ることが出来る

# 新たなソリューションを生み出すことのメリット

**企業：脱炭素貢献、事業拡大**

**ベンチャー：資金獲得、事業可能性**

**個人：資金獲得、アイデアを試せる**

# 将来展望

- **ベンチャー企業の地域事業化促進につなげる**
- **地域事業化により地方銀行が支援しやすく**
- **地銀の環境投資に応えるスキームを盛り込ませること**で地銀の環境投資目標の早期化

# 参考文献

環境省地域脱炭素プラットフォーム

<https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/platform/?tab=02>

環境省 脱炭素地域づくり支援サイト

<https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/chiiki-datsutanso/>

総務省統計局 人口推移

<https://www.stat.go.jp/data/jinsui/2022np/index.html#a05k01-a>

Energy Start-up Data Explorer

<https://www.iea.org/data-and-statistics/data-tools/energy-start-up-data-explorer>

# 環境省へ提言



脱炭素先行地域プラットフォーム  
フォーラムの改革を!